

令和 年 月 日

氷見市土地改良区
理事長 山外 一郎 様

申請者 集 落 名
住 所
代表者氏名

㊟

土地改良事業申込書

令和 年度において、県単独農業農村整備事業を実施したいので、別紙条件を了承のうえ、申込致します。なお実施の際の地元負担金については土地改良区指定期限までに納入することを確約致します。

添付提出書類：位置図
：現地写真
：事業内容

別紙条件

① 事業申込について

- ・事業申込は集落代表者（又は工区長）が行うものとする。また、工事中、工事完了後も連絡等は集落代表者とする。役員交代の際には後任に引継を行うものとする。

② 事業の取りやめについて

- ・土地改良事業申込書提出後は原則災害等やむを得ない事態を除き事業のとりやめは行えないものとする。

③ 工事の際の補償について

- ・工事の際、私有地の使用が必要な場合に土地改良区及び請負者から土地等の賃借料は支払わないものとする。ただし構造物を取り外した等原形を変えた場合、現況復帰は行う。また休耕を余儀なくされた場合においても同様に作物補償は行わない。

④ 事業費の変更について

- ・地下埋設物等不測の事態により事業費が増額となった場合、増額負担について了承するものとする。また著しい物価上昇の際も同様とする。

⑤ 施設の引渡、瑕疵保証について

- ・工事後、地元立会いにて完成検査・引渡を行う。引渡後の工事箇所の維持管理は地元負担とする。工事区間における著しい瑕疵保証は引渡後2年間とする。瑕疵が発見された場合は手を加えず土地改良区まで報告を行うものとする。他の工事等の入った後の瑕疵保証は原則受付ないものとする。
- ・工事に仮設道路として田を使用した場合は地主立会い後引渡とする。施工業者にて田面復旧を行うため、田については立会い後は個人管理とするが、工事後1作目に機械等が沈み明らかに工事使用によるものと認められる場合は砂補充等の瑕疵保証を検討する。

⑥ 工事発注について

- ・工事入札については、氷見市土地改良区契約規則において執行する。業者の指定は行わない。

⑦ その他

- ・事業施行において地元交渉が必要となった場合、全面協力するものとする。
- ・工事中の協議については集落代表者（又は工区長）と土地改良区監督員とで行う。
個人の要望又は意向で追加工事、申込内容外の工事を行わない。
- ・賦課金の未納者がある地区においては、解消に協力するものとする。

集落代表者（又は工区長）

_____ ⑧

事業内容

- ① 数量及び構造（何をしたいか簡潔に記載）

事業内容 (例)

① 数量及び構造（何をしたいか簡潔に記載）

- ・連結型鉄筋コンクリートベンチフリューム 400 型 L=200.0m
- ・暗渠ボックスカルバート 400*400 型 L=6.0m

当用水路の既設フリュームはベンチフリューム 300 型で、経年劣化による目地の開きから漏水し畔の浸食が進んでおり、更には製品の沈下が発生し安定した通水が行えていないのが現状である。現在は営農形態が変わったため、昔と比べ短期間に多く用水量が必要となってきたため、サイズアップしたフリュームを使用し布設替えを行いたい。